

第2回 台東区区民憲章策定区民会議 グループ会議

第1グループ 議事概要

4月27日(木) 19:00~21:00

台東区役所 1001 会議室

1. 憲章の本文に盛り込むべき表現について

- ・ 当グループとしては、前回までに議論して絞り込んだ、以下の表現を本文5箇条に盛り込むべき表現として起草委員会に提案したい。
- ・ 項目は6項目あるが、「その他」とした「いき」は、他の項目に織り込むことや、前文に盛り込むことなども考えられる。こうした処理は、起草委員会にお任せしたい。

< 憲章に盛り込むべき大切な表現 >

* 家族、子育て、教育

- ・ 子どもは良い教育を受け、健康的であらねばならない
- ・ 家族をいつくしんで、健康で明るい家庭を育てます

* にぎわい、観光

- ・ たくさんの人が訪れ、おおいに賑わい、皆が楽しめる町にしましょう

* 安心して暮らせる支え合いのまち、お互いを思いやる心

- ・ 世代や国を越えて助け合う、人情のある町にしましょう
- ・ お互いに譲り合い、支え合い、安心で心地よいまちを育てます

* 文化資源、自然資源

- ・ 先人が残した自然、文化財を大切に守って後世に渡す
- ・ 江戸文化の継承
- ・ うつくしく みどりはぐくむ ゆたかなまちを

* いきがづくり

- ・ 友人の輪を広げ、仕事、学び、ボランティアなど生きがいを育てます

* その他

- ・ 「いき」

最も大切にしたい表現(いつくしむ心、子どもの健全育成)について

- ・ 上記の表現の中でも、特に「家族をいつくしむ心」を大切にしたいと考える。「家族をいつくしむ心」があれば、友人、隣人をいつくしむことにもつながっていく。こうした気持ちを持つことで、支え合う地域社会づくりも可能になる。
- ・ 教育も大切である。地域の財産として、子どもを健康的に育てることは、地域社会の責任であると思う。
- ・ この、「家族をいつくしむ心」と、「地域社会で子どもを健全に育てる」ということを、当グループの提案の中でも最も大切にしたい思い、言葉として起草委員会に提案

したい。

- ・ 現在の論点の構成では、この二つの事項が一つの論点に含まれているが、場合によっては二つに分けて表現して頂いても良いと思う。このあたりは、起草委員会で具体的な表現を検討する段階で、適切に処理して頂けるとありがたい。

2. 前文について

匠の技の継承について

- ・ 台東区に伝わる、職人の技術を残し、伝えていくということも、何らかの形で憲章に表現したい。
- ・ この「匠の技の継承」とでもいうべき考え方は、本文よりも、前文に「台東区らしさ」を後世に伝える表現として、歴史性を打ち出す表現の中で織り込んでもらいたい。

芭蕉の句について

- ・ 芭蕉の句については、当グループの中でも大別して以下の二つの意見があり、意見の統一に至らなかった。

意見1：前文の中で台東区らしさを打ち出す上で非常に有効であり、是非盛り込むべきである。

意見2：この句を用いると、上野・浅草にイメージが偏りすぎる他、表現が特殊であるため前文全体の構成が困難となるため、盛り込むべきでない。

- ・ 以上のようなことから、芭蕉の句については、当グループとしては統一した意見の提案はせず、上記二つの意見の両論を併記した形で起草委員会に提案するに留めることとする。

3. その他

- ・ 起草に参画して頂く方には、憲章の文章を作成する際には、初めから形にとらわれずに、何を伝えたいかという「思い」を大切に検討して頂くようお願いしたい。形を整えるのは最後の最後が良い。

三輪委員

- ・ この会議の議論の特徴として、形容詞、形容動詞に関する議論が少なく、名詞に関する議論が大部分を占めている。今後は形容詞、形容動詞に関する議論を意識しておいた方が良いのではないかと。

以上